

流山商工会議所景気動向調査結果(令和4年2月実施) ご協力いただきありがとうございました

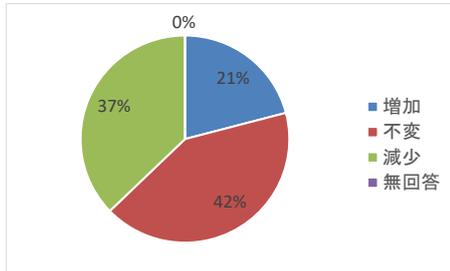
対象：100事業所

回答：43事業所(建設12、製造8、卸・小売9、サービス14)

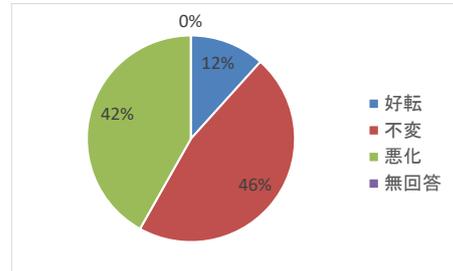
回答率：43%

比較：前年同月比(2月)

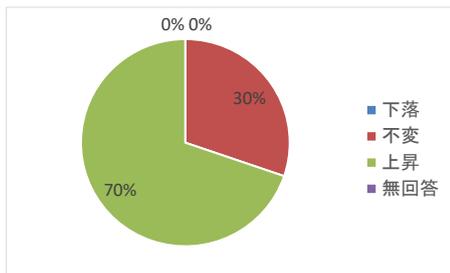
<売上高>



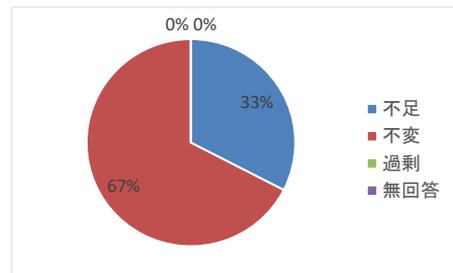
<採算>



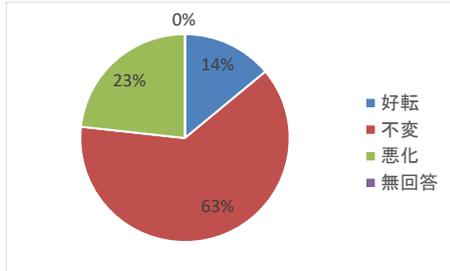
<仕入単価>



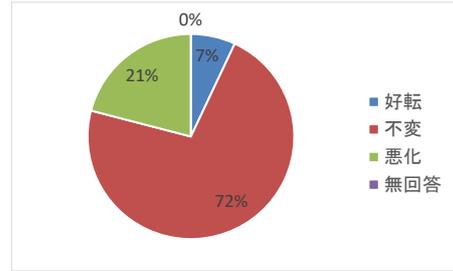
<従業員>



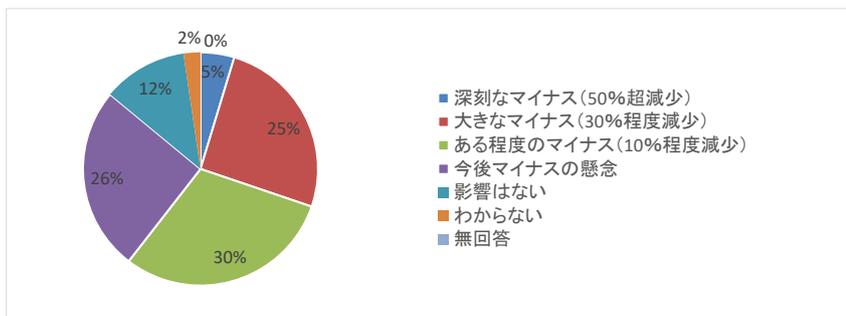
<業況>



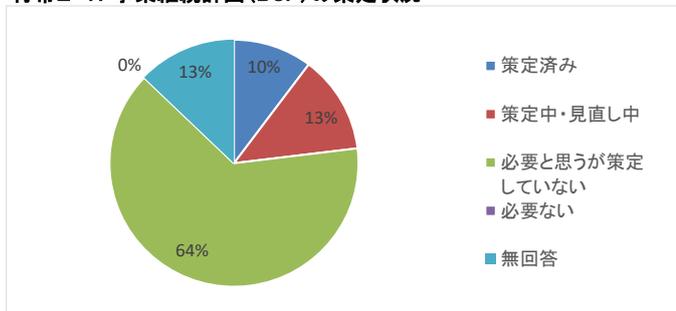
<資金繰り>



付帯1. 新型コロナの影響



付帯2-1. 事業継続計画(BCP)の策定状況



<コメント> 前年(令和3年2月)は緊急事態宣言下

売上:全体では前回調査(11月)よりも増加と回答した企業が減少した。特に小売、サービス業の増加が減少している。

また、前年比業種別で見ると製造業の50%が増加したと回答しており、一部の持ち直しがうかがえる。

採算:前回調査と比較すると好転と回答した企業が5ポイント減少し、悪化が8ポイント増加しており、厳しさを増している。

仕入:全業種ともに上昇していると感じており、特に建設業が92%、小売業が86%と高い回答で収益を圧迫している。

コロナの影響:まん延防止下、依然として影響は大きく「影響が続いている」が60%で前回調査よりも7ポイント増加している。

今後マイナスの懸念をあわせると86%でこちらも前回調査より5ポイントの増加であり、先行きが見えない状況が続いている。

BCP:すでに策定している事業所もあるが、「必要と思うが策定していない事業者」が大多数である。自然災害等に対する計画も

重要であるが、新たな感染症を想定したBCPIは大半の事業所において関係する計画であり、検討が必要である。

その他キーワード:資源・材料・賃金高騰、商材納期の遅れ、海外物流遅延による機会喪失、固定資産税上昇、

利用者(人出)減少、市場動向の急激な変化、定年延長

